

NHK 放送技術研究所について¹

NHK では、放送全体に関わる技術の研究を放送技術研究所が中心となって進めています。放送技術研究所はラジオ放送が始まった 5 年後の 1930 年に設立され、以来、放送に関わる基礎から応用までの課題に一貫して取り組んできました。現在は 8K スーパーハイビジョン、立体映像、インターネット活用技術、高度番組制作技術、人にやさしい放送技術、次世代放送用デバイス・材料などの分野の研究を進めています。

やさしい日本語のニュースの研究開発の紹介

1 やさしい日本語のニュース NEWSWEB EASY²

NHK では国内在住の外国人のために、やさしい日本語でニュースを伝えるインターネットサイト NEWSWEB EASY を 2012 年 4 月に立ち上げました。NEWSWEB EASY では web に掲載されたニュースの中から毎日 5 本を選び、日本語教師と記者が共同でやさしい日本語に書き換えて提供しています。この書き換えには放送技術研究所で開発したさまざまな支援ツールを使っています。NEWSWEB EASY のニュースには以下の特徴があります。

- ・ 原則として旧日本語能力試験の 3 級以下の語彙と文法を使用
- ・ 固有名詞や書き換えると不自然になる表現はそのまま使用
- ・ 2 級以上の難しい語には小学生用の辞書の説明を付与
- ・ 人名、組織名などの分類に従った固有名詞の色表示が可能
- ・ 音声合成装置によるニューステキストの読み上げが可能

NEWSWEB EASY は開始以来、多くの人に閲覧されてきました。また、情報収集のためだけでなく日本語教育や学習にも利用されています。展示では、実際の NEWSWEB EASY の画面をご覧ください。

2 読解支援情報付きニュース

NEWSWEB EASY のニュースを作るには元のニュースの内容の一部を省略し、文法や語彙をやさしくします。このため、NEWSWEB EASY だけでは元のニュースの内容全部を知ることはできず、ニュースの表現や文法のすべてを学ぶことはできません。そこで元のニュースに「読解支援情報」を合わせて提供することでこれらを解決する研究を進めています。

読解支援情報には、NEWSWEB EASY で使用しているやさしい日本語と外国語を使います。またその作成には、やさしい日本語の自動書き換えシステムと機械翻訳システムを利用します。展示では元のニュースに、ふりがなのような形でやさしい日本語と韓国語の読解支援情報（翻訳）を付けたニュースの例をご覧ください。

¹ <http://www.nhk.or.jp/str1>

² <http://www3.nhk.or.jp/news/easy>